

住民監査請求についての意見陳述

2006年10月19日

佐藤 よし

(1) どうして私が監査請求するにいたったのか

私は、警察大学校が一極集中緩和のため府中に移転したとき、この広大と思える跡地は何になるのだろうと心はずむ思いでした。でも、14haの警大跡地の計画は、私の思いとは違う方向に進んでいます。

そんな中で、跡地利用の計画がどのように進むのか正確にしりたいと右往左往している時に、日常関心も興味もなく、今まで見たこともない「中野駅周辺まちづくり推進委託報告書」を見ることになりました。

この報告書を仲間で見ていると、前の年に出された「地区計画検討支援業務報告書」と比較して、あまりにも同じ箇所が多いので狐につままれた思いでした。

こんな形で、区民の大切な税金1300万円が、複製しただけの業者に支払われると思うと、怒りがわいてしかたありません。

先日、中野まつりがおこなわれました。中野まつりはここ5年間予算がついていません。そのため、企画展示や模擬店などを出すグループによってはポケットマネーを出し合ってまつりをささえてきました。今年は、やっと300万円の予算がつきましたが、なんのことはない、区の施設の多くが民間委託になったために会場費に充てられるお金だったのです。

一方では、多くの区民が参加し楽しむまつりの経費が削られながらも、みんなでまつりをささえあっているというのに、警大跡地の調査委託には、前の年の複製のような報告書に1300万円も支払うというのは、とても信じられません。

私は、このような「報告書」が通常いくらなのかは判断できません。ですから、私なりに示せる範囲で、監査請求にいたった内容を説明させていただきます。

(2) 不可解な箇所が多い三菱総研の報告書

① 1つは、「証拠」として提出しました平成18年3月付「三菱総研の報告書」と、2005年3月付の新都市建設公社が日建設計に再委託してできあがった報告書が酷似している点です。

三菱総研の報告書は、第一部50ページ、第二部19ページ、第三部97ページで構成さ

れ、2部、3部に警大跡地の地区計画関連のことが書かれています。

酷似しているという点の1つは、第二部の19ページの内11ページが第一部のグランドデザインからの転用です。

2つめは、三部は97ページ中94ページが前年度の報告書からの転用です。それは、内容が似ているという程度のもではなく、ほぼコピーそのものです。ただ、この報告書は一年の経過があり、多少の数字や図面が変化している箇所もあるという程度のもです。

2つ合わせると、二部・三部の計116ページのうち、新しく書かれたものは、わずか11ページです。ということは、第1部の50ページあるグランドデザインの作成費用として1300万円が支払われたようなものです。

② 拠点まちづくり推進室では、証拠にもありますように「産経新聞」と「都政新報」で、「報告書の中心は前年の報告書にはないグランドデザインの調査で、前年の報告書と同じ表現があるのは問題ではない」とコメントしています。

(2) どう説明しようが、地区計画決定に向けた調査委託は大きな目的だった

私は、地区計画の調査委託については重視していなかったという拠点まちづくり推進室のコメントについて、住民としてチェックしてみました。その点を説明したいと思います。

① 三菱総研へ調査委託した「中野駅周辺まちづくり推進委託の実施」の事業は、「2005年度当初予算」に計上され、区議会でも議論され、2005年12月に実施されたものです。

「2005年度の当初予算の概要」を証拠として追加しました。

そこには、「地区計画方針（再開発等促進区）の決定とその具体化に向けた検討を行います。公園の都市計画変更及びその関連事項の調査検討を行います。○事業内容：警察大学校等移転跡地地区計画等推進支援委託」とかかかれています。

この当初予算について、2005年3月7日、中野区議会予算特別委員会建設分科会で質疑されています。証拠として、その質疑内容の議事録を提出しました。

担当課長は、「警察大学校等移転跡地に関する委託調査が1,220万円」と説明しています。

さらに、その内容について、長くなりますが、重要な部分ですので、お読みします。

「警察大学校等移転跡地に関してでございますが、これは大きく分けて二つございます。まず一つは、現在策定作業をしております中野駅周辺まちづくり計画、これの策定

後、平成17年度中には地区計画、これは再開発促進区でございますけれども、この方針を決定する予定でございます。それからその後、地区整備計画を策定するという予定もあります。これらに関する調査委託ということでございます。

地区計画の方針案の作成につきましては、本年度、平成16年度ですが、調査委託の項目となっておりますが、その案をもとに、具体的に都市計画の案件として各種図書や必要な資料の整理、バックデータの整理、そういったものが必要になります。あわせて、その後、翌年度早々にも地区整備計画策定手続に入るという予定でありますために、それに向けた調査及び検討が必要であるということでございます。

なお、この地区計画の方針でございますけれども、総括質疑でも述べさせていただきましたが、財務省が跡地を民間に売却する際の条件のベースとなるものでありまして、跡地の土地利用を左右する非常に重要なものであるというふうに考えてございます。

もう一つでございますが、これは囲町公園でございますが、公園の都市計画変更及び関連事項の調査検討ということでございます。これも総括質疑で述べさせていただきましたけれども、跡地中央部に防災公園を設けるに当たりまして、現在の囲町公園を跡地中央部に移転した上で開発者負担の1.0ヘクタールの公園と合わせまして、約1.5ヘクタールの防災公園とするという想定がございます。そのための都市計画上の検討ですとか手続、それから関連する周辺の街路計画の見直し、こういったものについて調査及び検討するというようなことでございます。」

このように、担当課長は、区議会で、地区計画のための調査は、跡地の土地利用を左右する非常に重要なものだとして、予算として1220万円を見積もったということがわかります。

② この調査委託は、契約書によると、2006年3月20日に納品されております。3月22日の中野区議会中野駅周辺整備・交通対策特別委員会で、上村中野駅南口周辺整備担当課長が、この調査委託について口頭で報告をしております。

「平成17年度における拠点まちづくり推進室の中野駅周辺まちづくりに係る調査について報告申し上げます。

中野駅周辺まちづくりに係る今年度調査は、二つ行っておりまして、一つは中野駅周辺のまちづくり推進委託でございまして、中野駅周辺がにぎわいと環境の調和した中野区の顔となるよう、そのビジョンを明らかにすることと、またあわせて警察大学校等跡地を含む中野4丁目地区の地区計画決定に向け、必要な資料の作成等を行うなど、都市

計画と産業経済面からの総合的な調査検討を行っているものでございます。」

このように、担当課長は、実際に委託にもとづく調査が終了した段階でも、地区計画決定にむけた必要な資料の作成が、今年度調査の1つの柱だと報告しております。

このように、地区計画の決定に向けた必要な資料の作成というのは、2005年度の調査を予定した段階でも、報告書が納品された後でも、とにかく調査の目的の大きな柱でした。そのために、調査委託の契約をおこなったということがわかります。

(2) 納品物が、仕様書通りのものが納められているかどうかについて検証

次に、三菱総研は、仕様書にもとづいてきっちりと仕事をこなし、必要なものがおさめられているかどうかについてチェックしてみました。監査委員の方々がチェックすれば、より詳細に確認できると思いますので、厳正に監査をしていただくようお願いします。

委託契約書を見ると、三菱総研がやるべき仕事は、細かく記載されています。一体、これらの記載された項目について、三菱総研は契約通りの仕事をしたのでしょうか。

私は、チェックしてみて大変疑問に思いました。疑問というより、三菱総研は、契約書にもとづいた仕事さえもしていないと思いました。

① たとえば、「(2) で地区計画決定に向けた関係機関及び関係者との協議、調整に必要な資料の作成」という課題がありますが、証拠として提出してある情報公開請求への2006年8月4日づけの区政情報非公開決定通知書をみていただくと分かりますが、作成された資料として示すことができるものは、「4者協議会資料」として第4回作業部会へ提出したP3-40の図3-1及び、P3-54の図3-9の2点だけです。それさえも特に資料リストとして整理されているものではありません。

② 次に、中心となる「地区計画(方針)素案の作成支援、及びその基礎となる企画提案の調製並びに地区整備計画の検討支援」は、どうでしょうか。

これは、監査委員の方々に厳しくチェックしていただきたいと思えます。

私は、全体として、この課題について、三菱総研は、やるべきことをやったのか、大変疑問に思っています。

というのは、今年の6月になってセントラルコンサルタントへ「警大跡地等に関し地区計画推進、総合的まちづくりのためのガイドラインの作成」という調査委託をしているからです。これは、再開発等促進区の地区計画策定に向けた地区整備計画作成業務です。これは、三菱総研が調査すべき内容とどう違うのでしょうか。

それぞれの起案書を、証拠として提出しています。良く、お読みになって頂きたいと思います。言葉の言い回しの違いはありますが、その内容については、ほとんど違いはないではありませんか。

三菱総研の仕事が不十分だったから、今年も同じような内容で、セントラルコンサルタントに再開発等促進区の地区計画策定に向けた地区整備計画作成業務の仕事を出したとしか思えません。

(3) 三菱総研に 1300 万円支払う必要はない

結局、三菱総研のやった仕事は、不十分だらけではありませんか。どうしてこんな仕事に 1300 万円も区民の大切な税金を支払わなければならないのですか。

製品のほとんどは、複製物。その複製物にしても、契約した課題について、ほとんど仕事をしていないということではないでしょうか。

こんなことを繰り返して区民の望む警察大学校の跡地計画ができるとは、とても思えません。どうしてこんなことがおきるのか、監査委員のみなさんには厳しくチェックしていただき、区民の税金が大切に使われるようにいただくようお願いします。

警察大学校跡地は、国民の貴重な国有地です。私は、貴重な公有地は公有地のままにして、区民参加で土地の利用の仕方を考えてほしいと思っています。しかし、仮に処分するにしても、そこをどう処分し、利用するのに重大な影響を与える、非常に重要な調査がこんな杜撰なものであってよいはずがありません。

仮に、この土地が 1㎡ 50 万円とすると、14ha 全体では、700 億円にもなります。もっと、注意深く慎重にすすめるべきではないでしょうか。処分した後は、設計会社が入り、建設会社が入り、不動産会社のマンション売却、テナントの賃貸など、私たち庶民からは想像もできないような莫大なお金が動くことになります。

利権がからみやすいだけに、土地利用を左右する大変重要な調査ですし、ましてや自治体がすすめる調査ですから、今回のような住民監査請求で不正、不当などと指摘されるようなことはあってはならないはずで。

監査委員のみなさんには、真相究明にご努力していただき、公正な審判をしていただくよう心からお願いします。

今日は、私のお話を聞いていただいて、大変ありがとうございました。